



Title	多言語翻訳 太宰治『黄金風景』 訳者・参加者一覧
Author(s)	
Citation	多言語翻訳：太宰治『黄金風景』. 2012, p. 69-71
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/32737">https://hdl.handle.net/11094/32737</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 訳者・参加者一覧 Project Members List

テン アリナ Alina Ten

日本中古文学、七夕歌をはじめとする和歌の研究

「『後撰和歌集』における七夕歌」(『日本研究論集』4号、チュラーロンコーン大学・大阪大学、2011年10月)

ルーンピロム カナパット Kanapat Ruenpirom

大阪大学大学院博士後期課程 日本中世文学、軍記物語の研究

「延慶本『平家物語』における二位殿・平時子—苦悩の様相の平家一門の後世救済に対する役割—」(『語文』97号、大阪大学国語国文学会、2011年12月)、「真名本『曾我物語』における大磯の虎—苦悩の克服と愛執の様相—」(『詞林』49号、大阪大学古代中世文学会、2011年4月)、「真名本『曾我物語』における北条政子の説話—苦悩の克服の様相—」(『日本研究論集』2号、チュラーロンコーン大学・大阪大学、2010年10月)

モハンマド モインウッディン Mohammad Moinuddin

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、志賀直哉の研究

『Exploring the Idea of Self in Modern Japanese Literature — Reading the Masterpiece of Shiga Naoya “Wakai” —』(LAP Lambert Academic Publishing, Germany, October, 2012) 「志賀直哉『流行感冒』論—「自己」と「他者」を中心にして」(『阪大近代文学研究』9号、大阪大学近代文学研究会、2011年3月)、「志賀直哉『十一月三日午後の事』をめぐって—他者へのまなざし—」(『日本研究論集』2号、チュラーロンコーン大学・大阪大学、2010年10月)

康盛国 (カン・ソンクック) Sung-Kook Kang

大阪大学大学院博士後期課程 日本近世文学、雨森芳洲・朝鮮通信使の研究

「雨森芳洲の漢詩観—『橘窓茶話』を中心に—」(『近世文芸』96号、日本近世文学会、2012年7月)、「雨森芳洲「少年行」と李白の詩」(『日本研究論集』4号、チュラーロンコーン大学・大阪大学、2011年10月)、「『雨森芳洲・鵬海詩集』諸本の考察」(『混沌』35号、混沌会、2011年12月)

金侖姫（キム・ユニ） Yoon-Hee Kim

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、樋口一葉の研究

「樋口一葉『うつせみ』における狂氣」『韓国日語日文学研究』（韓国日語日文学会 74-2, pp. 177-195, 2010年8月）、「樋口一葉『軒もる月』論—「十二通の文」との対峙—」（『阪大近代文学研究』10号、大阪大学近代文学研究会、2012年3月）、「樋口一葉『ゆく雲』論—「心かよは」ない文—」『語文』98号、大阪大学国語国文学会、2012年6月）

莊千慧 Chien-Hui Chuang

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、夏目漱石の研究

「漱石における心靈主義の受容—「哲学雑誌」を踏まえて—」（『阪大近代文学研究』10号、大阪大学近代文学研究会、2012年3月）、「『琴のそら音』—「法学士」の不安—」（『日本文学論集』6号、チュラーロンコーン大学・大阪大学、2012年10月）、「鷗外の怪奇小説—明治期の心靈学の流行との関連をめぐって—」（『待兼山論叢 文学篇』46号、大阪大学大学院文学研究科、2012年12月）

張麗靜 Li-Jing Zhang

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、谷崎潤一郎の研究

「谷崎潤一郎『不幸な母の話』論—「私」が捉える母子の関係—」（『阪大近代文学研究』7号、大阪大学近代文学研究会、2009年3月）、「谷崎潤一郎『少将滋幹の母』論—「筆者」による「不義」の擁護をめぐって」（『日本研究論集』4号、チュラーロンコーン大学・大阪大学、2010年10月）、「〈母恋い〉の様相—谷崎潤一郎『少将滋幹の母』を中心として—」（『異文化コミュニケーションのための日本語教育（予稿集）』、高等教育出版社、2011年5月）

田泉 Quan Tian

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、大江健三郎の研究

「大江健三郎『奇妙な仕事』論—犬の表象をめぐって—」（『異文化コミュニケーションのための日本語教育（予稿集）』、高等教育出版社、2011年8月）「見るまえに跳べ」論—跳ぶことについて—」（『間谷論集』6号、大阪大学日本語日本文化教育センター、2012年3月）、「大江文学における重複と変容—「奇妙な仕事」と「死者の奢り」を中心に—」（『日本研究論集』2号、チュラーロンコーン大学・大阪大学、2010年10月）

李雅婷 Ya-Ting Lee

National Taiwan University Department of Japanese Language and Literature

日本文学・言語学の研究

合山林太郎 Rintaro Goyama

大阪大学大学院文学研究科講師 幕末・明治期の漢文学の研究

「森槐南と吳汝綸—1900 年前後の日中唱和—」(『東アジア海域叢書第 13 卷—蒼海に交わされる詩文—』、汲古書院、2012 年 10 月)、「性靈論以降の漢詩世界—近世漢詩をどう捉えるか—」(『日本文学』61 卷 10 号、日本文学協会、2012 年 10 月)、「幕末の歴史人物批評—幕末昌平齋関係者の作品を中心に—」(『江戸の漢文脈文化』、竹林舎、2012 年 4 月)

平井華恵 Hanae Hirai

大阪大学大学院博士前期課程 日本近代文学、近代小説における装丁・挿絵の研究

本書の英語部分については、すべて、モハンマド モインウッディンによる校閲を経た。また、表紙デザインは、平井華恵が担当し、全体の編集は、合山林太郎が行った。

電子版について (2014 年 5 月 15 日付記)

電子版をウェブ公開するにあたり、日本語テキスト (p5–6)、簡体中文翻訳 (P8–9) に修正を施した。